

2022年度日本演劇学会全国大会「演劇と美術」プログラム

6月3日(金)	前夜祭	「近代日本の演劇と吉田謙吉」展
17:30	受付開始 (A棟スタジオS)	会場: A棟スタジオS 開室: 17:00
18:00-20:00	前夜祭シンポジウム「近代日本の演劇と吉田謙吉」 会場: A棟スタジオS パネリスト: 塩澤 珠江(吉田謙吉長女、「吉田謙吉・資料編纂室」長) 伊藤 雅子(舞台美術家、日本大学、東京造形大学) 鈴木 健介(舞台美術家、桐朋学園芸術短期大学、桜美林大学) 濃野 壮一(舞台美術家) コメンテーター: 阿部 由香子(共立女子大学) 司会: 加納 豊美(多摩美術大学)	閉室: 20:00

6月4日(土)	大会一日目	開室: 11:00
12:15	受付開始 (上野毛校舎 3号館 入口)	
13:00-13:30	開会式 会場: 3号館 1F 映像スタジオ 会長挨拶: 永田 靖(大阪大学) 会場挨拶: 金井 勇一郎(多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科長) 趣旨説明・総合司会: 土屋 康範(多摩美術大学)	
	2号館 B06教室 (B1F)	2号館 B05 教室 (B1F)
	2号館 B04教室 (B1F)	
	ルーム1 演劇とコミュニケーション 司会: 藤崎 周平(日本大学)	ルーム2 演劇と美術 司会: 児玉 竜一(早稲田大学)
	ルーム3 パネルセッション① (13:50-15:50)	
13:50-14:30	発表① 舞台美術家の演劇教育——21世紀の舞台美術教育の特徴に関する一考察 飛田 勤文(芸術文化観光専門職大学)	発表④ 世阿弥作「熊野(湯谷)」と誰が袖図屏風の表象——近世初期の芸能と美術—— 児玉 絵里子(文化学園大学文化ファッション研究機構)
14:30-15:10	発表② 応用演劇における美学とは何か 佐々木 英子(青山学院大学)	発表⑤ 伊藤晴雨試論——稀代の(責め絵師)は芝居に何を夢みたか 後藤 隆基(立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター)
15:10-15:50	発表③ 演劇時脳波の個人差と俳優の脳波の特徴 田中 昌司(上智大学)	発表⑥ 1830、40年代のパリのグランド・オペラの舞台美術・演出 森 佳子(早稲田大学、多摩美術大学)
16:20-18:20	シンポジウム I「NODA・MAPにおける美術のポジション——野田秀樹の作品を例として」 会場: 3号館 1F 映像スタジオ パネリスト: 野田 秀樹(劇作家、演出家、役者、NODA・MAP、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学) 堀尾 幸男(舞台美術家) ひびの こづえ(コスチューム・アーティスト) 嶋田 直哉(明治大学) コーディネーター・司会: 内田 洋一(文化ジャーナリスト)	新しい民主主義論と演劇 平田 栄一郎(慶應義塾大学) 寺尾 恵仁(北星学園大学) 針貝 真理子(東京大学) 宮下 寛司(慶應義塾大学) 三宅 舞(獨協大学)
		閉室: 19:00

6月5日(日)	大会二日目	開室: 11:00
9:30	受付開始 (上野毛校舎 3号館 入口)	
	2号館 B06教室 (B1F)	2号館 B05 教室 (B1F)
	2号館 B04教室 (B1F)	
	ルーム1 劇作家とドラマツルギー 司会: 平川 大作(大手前大学)	ルーム2 美術館における演劇 司会: 岡室 美奈子(早稲田大学坪内博士記念演劇博物館第8代館長)
	ルーム3 パネルセッション② (10:00-12:00)	
10:00-10:40	発表⑦ ポール・クローデルとジャン＝ルイ・バロウの共同制作における発話法の問題: リズムの観点から 岡村 正太郎(学習院大学大学院)	宝塚歌劇の「素人性」と市民演劇 鈴木 理映子(編集者、ライター、成蹊大学) 辻 則彦(演劇ライター) 松本 俊樹(立命館大学、大阪音楽大学)
10:40-11:20	発表⑧ 三好十郎の「転向」と無転向 高橋 宏幸(桐朋学園芸術短期大学)	発表⑩ 美術館と演劇のコラボレーション企画の可能性——徳島県立近代美術館、坂出市民美術館での活動を例にあげて—— 仙石 桂子(四国学院大学)
11:20-12:00	発表⑨ クリスチャン・フェーリクス・ヴァイセの青少年向け演劇——作劇法と青少年少女像をめぐって 小林 英起子(広島大学)	発表⑪ 美術館の中の上演芸術——チェルフィッチュ×金氏徹平『消しゴム森』を中心に 江口 正登(立教大学、日本大学)
12:00-13:15	昼食・理事会 会場: 3号館 3F 302教室	
13:15-14:55	総会 会場: 3号館 1F 映像スタジオ 河竹賞授賞式 河竹賞奨励賞受賞者挨拶 岡田 蒔子『岸田理生の劇世界』 須川 渡 『戦後日本のコミュニテイ・シアター 特別でない「私たち」の演劇』	
15:15-17:15	シンポジウム II「演劇と美術——入り交じる時間と空間——」 会場: 3号館 1F 映像スタジオ パネリスト: 岡田 利規(演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰) 高嶺 格(美術家、演出家、多摩美術大学) 橋本 裕介(ロームシアター京都) 關 智子(早稲田大学) コーディネーター・司会: 萩原 健(明治大学)	
	閉会の辞 会場: 3号館 1F 映像スタジオ 副会長挨拶: 井上 理恵(桐朋学園芸術短期大学)	閉室: 18:00